

平成 29 年度 GN グループ B4 新人研修課題 報告書

2017 年 4 月 20 日
乃村研究室 西 良太

1 概要

本資料は平成 29 年度 GN グループ B4 新人研修課題の報告書である．本資料では，課題内容，理解できなかった部分，作成できなかった機能および自主的に作成した機能について述べる．

2 課題内容

Ruby による SlackBot プログラムを作成する．具体的には以下の 2 つを行う．

- (1) 任意の文字列を発言するプログラムの作成
- (2) SlackBot プログラムへの機能追加

SlackBot の作成に用いた Ruby のバージョンは 2.1.5 である．

3 理解できなかった部分

理解できなかった部分は以下の 2 点である．

- (1) Rack の仕組みについて．
- (2) bundler の後方互換性の有無について．

今回の開発環境では bundler 1.14.6 を使用しており，デプロイ先の Heroku では bundler 1.13.7 が使用されていた．このように運用環境の bundler のバージョンが古いときでも問題なく Gem の管理が行われるのかどうか理解できなかった．

4 作成できなかった機能

作成できなかった機能を以下に示す．

- (1) 指定した Outgoing WebHooks 以外からの POST を拒否する機能
- (2) 周辺施設の検索において表示結果の数を指定する機能．

5 自主的に作成した機能

自主的に作成した機能を以下に示す．

- (1) 地名，建物名等から指定したキーワードに関連する施設を検索して発言する機能．また，それらの位置を示す地図画像と経路を見ることができる GoogleMap の URL を発言する機能．